



富士市立吉原第二中学校 令和5年度 3月2号 学校だより

## 希 望 ヶ 丘



令和5年度、ご協力ありがとうございました。

### ○ エコキャップ回収 (3月5日)

吉原第二中学校は、青少年赤十字：JRC（ジュニア・レッド・クロス）の加盟校です。半世紀を迎えました。加盟校の中でも JRC 委員会が位置付けられ、積極的に活動している中学校はそう多くはありません。JRC に加盟したときの熱量は、年月が経過していくと薄れていき、JRC 活動も縮小化されていく中で、伝統を受け継いで継続している吉原第二中学校と地域は素晴らしいと思います。今年度は、JRC 委員会と生徒会が中心となり、本校生徒や地域の皆様のご協力を得て、アルミ缶 406kg とエコキャップ 151kg (64,930 個) が集まりました。アルミ缶回収の収益は日本赤十字社を通じて、能登半島地震の義援金として寄付し、エコキャップは富士市社会福祉協議会に寄付して 38 人分のワクチンになりました。

3月5日に、富士市社会福祉協議会からエコキャップ回収車が来ました。残念ながら、頑張って回収した生徒たちは授業中でしたが、担当者の方が、車2台いっぱい積み込まれたエコキャップを見て感動されていました。「ぜひ、この車内の状況を写真に撮って生徒の皆さんにみせてあげてください。」とおっしゃってくれました。これがその時の写真です。



### ○ 安否確認防災メール (3月12日)

学校だより3月号の中で、能登半島地震を受けて SNS での安否確認訓練を3月中に実施するというお知らせをしました。3.11の翌日、3月12日(火)午後7時に、安否確認防災メールを送信させていただきました。翌日、朝の段階では、367名の安否が確認されました。初めての試みでしたが、大勢の方々に参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

東日本大震災を受けて、日本の災害派遣は格段に進化しました。元日の能登半島地震では、静岡市の医療チームが災害派遣されたというニュースが放映されました。A県が被災した場合、B県が医療チームを派遣する。C県が食料物資を補給する。D県が救難捜索隊を派遣するなど、細かく担当する都道府県協定が組まれているそうです。SNS 等で安否や所在確認がなされていれば、他府県から専門の救助隊が「救出72時間以内」を目標に対応してくれるそうです。

## ○ 令和6年度 部活動の選択制について

令和6年度から、富士市では部活動への加入の仕方が4つの選択制となります。

1. 学校の部活動のみに加入する。
2. 学校部活動に加入せず、外部クラブチーム等にのみ所属する。
3. 学校の部活動及び外部クラブチーム等のどちらにも加入する。
4. 学校部活動及び外部クラブチーム等のどちらにも加入しない。

そこで、部活動アンケート調査を実施しました。1・2年生には、令和6年度からの部活動への加入の仕方について、親子で話し合ってから回答するようお願いしました。今泉小学校と青葉台小学校の6年生には、部活動見学後の率直な気持ちをアンケート調査しました。また、先の動向を把握するために、小学5年生にも回答してもらいました。結果、2や4を希望する生徒・児童が一定数おり、この先、部活動の継続が年々厳しくなっていくという状況が浮き彫りになりました。既に、本校では少子化の影響で顧問の複数体制が成立しなくなっています。部費についても部員数に比例していることから、活動費が不足する部活も出てきます。こうしたことから本校では、来年度、生徒が活動している部活動を維持していく方法として、男女別の部活動を合併することで部活動数を削減することにしました。廃部とは違い生徒の活動自体が大きく変化することではなく、試合では男女別になることから、部長は継続して配置します。さらに、いくつかの利点があります。

- ・ジェンダー問題に配慮されている。
- ・常時活動では、顧問が複数体制で付くことができる。
- ・活動場所やネットの高さ、練習形態（男女別、合同）等を状況に応じて変更が可能。
- ・男女が合併した部員数で部費が確保される。

残念ながら、年度末で活動実態がなくなってしまう園芸部については、休部として新入部員は募集しない予定です。皆様のご理解とご支援をお願いします。

### 【学校敷地内への自家用車乗り入れ時のお願い】

自家用車で来校される方は、正門の所で一時停止をするくらいの十分な減速をお願いします。

生徒も校内では安心感から車への意識が薄れています。思わぬ接触事故の危険が心配されます。安全への配慮として、学校敷地内では最徐行でお願いいたします。

### 【スクール・サポート・スタッフ（通称SSS）公募のお知らせ】

「チーム学校」の一員として、教員の業務（プリント印刷、袋詰め等）の手助けをしていただきます。やってみたい方は、教頭まで。 吉原二中 51-1115

1年間本校の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございました。

文責 教頭 田村 聖一